



消防本部からのお知らせ

消防本部・小野田消防署(☎83-0119) 山陽消防署(☎71-1900) 埴生出張所(☎76-0348)

消防年末特別警戒を実施します 12月23日(祝)～30日(土)

山陽小野田市消防本部、消防団では「市内の火災0」を目標に12月23日(祝)から30日(土)までの8日間、火災予防の広報と、警戒巡視活動を強化し、年末の火災警戒にあたります。

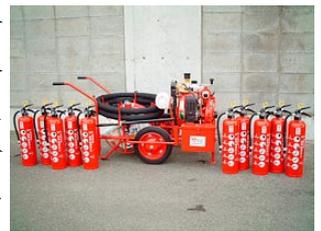


あわただしい年の暮れ、空気が乾燥し、ちょっとした不注意で大きな火事になります。暖房器具の消し忘れや、火の取り扱いには十分注意しましょう。

宝くじ助成事業で 女性消防隊の活動備品を購入しました

市では、(財)日本消防協会から助成を受け、「市女性消防隊」の活動を支援する備品として、軽可搬消防ポンプ1台、訓練用消火器10本、プロジェクタ1台を購入しました。

今回助成を受けた刈屋婦人防火クラブは、「自分たちの地域は自分たちで守る」という基本理念のもと、防火、防災活動に励まれており、今後一層の活躍が期待されます。



えがおのまち 6

一人ひとりの「いのち」を大切にする地域社会

私たちは、日々の生活の中で、どこまで自分の「いのち」について考えているのでしょうか。また、どれだけ周囲の人たちの「いのち」について考えているのでしょうか。



『山口県人権推進指針』に示された人権教育を推進していくためのキーワードに、「いのち(生命)」「じゆう(自由)」「びようどう(平等)」「きょうせい(共生)」があります。その中で、いのち(生命)のキーワードがめざしているものは、かけがえのない「いのち」を大切にする地域社会の創造です。

「いのち」があるからこそ、いろいろなことを考え、いろいろなことができるのです。現代社会において、その当たり前のことをあまりにも軽視しているように思います。もう少し、「いのち」の重さについて、真剣に考えていく必要があると思います。私たち一人ひとりが、かけがえのない尊い「いのち」の主体者であるという、人間尊重の視点に立ち、家庭、地域、学校、その他あらゆる場所において見つめ直し、一人ひとりの「いのち」が大切にされる地域社会をつくっていききたいものです。

(社会教育課)

理大 つうしん 21

<http://www.yama.tus.ac.jp>

～大盛況の「篠原菊紀」講演会～

11月4日(土)に本学生涯学習センター主催の教育文化講演会を開催しました。会場には300名を越す大勢の方々がご来場になり、超満員になりました。

講師は、本学の姉妹校である諏訪東京理科大学共通教育センター教授の篠原菊紀先生。「ボケない脳をつくる」と題し、脳科学の最新の研究成果や効果的な脳トレーニング方法について、ユーモアを交えながら詳しく解説され、聴講生全員で一緒に脳トレーニングも行いました。篠原先生の巧みな話術に、場内は笑いと驚きの渦に包まれ、講演時間はあっという間に過ぎてしまいました。

講演会終了後も篠原先生との質疑応答が相次ぎ、このテーマに対する市民の方々の関心の高さを伺い知ることができました。



▲篠原先生の指導の元、聴講生全員で脳トレーニングも行いました。